

(平成26年1月22日受付)

活力ある田辺市の創生

■内容

昨年6月に発表された田辺市統計書は、レントゲン写真ともいえるものです。顕在化している困難な問題は、すべて少子高齢化によって惹起こされたものであり、その一極に焦点を絞り有効な対策が必要であると思います。

各分野の専門家による「活力ある田辺市を創生する有識者会議」の類いの組織を設けて研究して頂くことも一つの方策であると思います。

■回答

本市では、専門家及び市内の多岐にわたる方々により、少子高齢化の状況も踏まえながらご審議いただき、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とした「第1次田辺市総合計画」を策定し、「一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり」を基本理念に掲げて、まちづくりを進めております。

こうした中、今回『顕在化している困難な問題は、すべて少子高齢化によって惹起こされたものであり、その一極に焦点を絞り有効な対策が必要であり、各分野の専門家「活力ある田辺市を創生する有識者会議」の類いの組織を設けて研究をしては』とのご提言をいただきましたが、これまで本市におきましては、「第1次田辺市総合計画」を根幹に据え、福祉・教育・防災・産業等それぞれの分野におきましても有識者等のご意見を交えながら具体的な計画を策定し、各種の取組を進めているところであります。

このような中、少子高齢化問題は全国的な課題であり、人口減少時代において、市としてどのように取り組んで行くかが大きな課題となっております。こうしたことから、今年迎える世界遺産登録10周年をはじめ、来年に開催される紀の国わかやま国体、合併10周年等大型周年事業を契機としまして、田辺市を広く内外にPRするとともに、「住んでよかった、行ってみたい、住みたい」と思っただけのよう交流人口・定住人口の増大、併せて地域経済が活性化するような取組等について、有識者の参画もいただきながら検討をしてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも、市政運営にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【企画広報課】